

# 日本共産党江戸川区議団

2024年第3回定例議会報告

## 江戸川区の未来は区民参加で

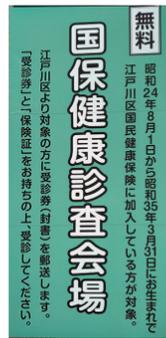


区の「2100年に向けた江戸川区の考え」は、施設の利用料の値上げや無料健（検）診の一部有料化など区民生活に関わる重大な内容です。十分な説明のないまま、短期間で方針を決める区のやり方に対し、区民への直接の説明や意見交換の実施など慎重な対応を求めました。その他、積立金の区民生活への活用、災害対策、区独自の給付型奨学金の創設などを求め奮闘しました。

### サービス削減・区民負担増！納得できますか!?

江戸川区は「広報えどがわ」8月15日号で「2100年に向けた江戸川区の考え」を発表。今後は「人口と収入は減少」「公共施設は建替えれば8300億円の借金」としています。

区は公共施設の利用料値上げ、健康診断の一部有料化など受益者負担を進め、施設は再編・整備し今より30%減らす方向です。



船堀コミュニティ会館



区は、これまで、22年に「2100年の共生社会ビジョン」、23年に「アクションプラン」を作成。その都度パブリックコメントを募集し、丁寧に取り組んできた。と説明。今年具体的な「スタートの年」として、8月の意見募集に続き、11月18日必着で3択の区民アンケート『①高サービス—高負担②中サービス—中負担③低サービス—低負担』を実施しました。しかし、4・5月の区民世論調査では

「ともに生きるまちを目指していること」を「知っている」は19・1%。「パブリックコメント」を「知っている」は僅か11%の回答でした。区の目指している姿や計画を80%以上の区民は知りません。区がやるべきことは「ともに生きるまちを目指す条例」や区の現状、2023年度の決算で区の積立金が額では全都で一番多い約2672億円等区民に知らせること。区民参加で区の未来を創ることです。

### 問題だらけの『区民アンケート』

今回のアンケートについては、選択肢が3つに限定され、郵送もネットも「氏名・住所・生年月日」の記入を必須とし、記入漏れは無効としています。最近の区のアンケートとも異なるやり方で、憲法の「内心の自由」の点から問題を指摘する声もあります。町会・自治会、学校等その場での投票を促すケースもあり、区の強引な姿勢が目立ちました。



10月広報えどがわ臨時号

### 区議団アンケートに1418名の回答

生活が「苦しくなった」81%  
「よくなった」1%

区議団が実施した区民アンケートにご協力いただきありがとうございました。「生活が苦しくなった」は2年前の57%から81%へ大幅に増えています。今議会の決算特別委員会で、区民生活を支援する区独自の給付金などを求めましたが、区長は低所得者対策を行ってきたと答弁するのみでした。継続的な支援が必要です。

「物価高はどんなところで感じますか」  
(複数回答で合計2252)

アンケートより

- 生活費すべて745人 ●食料品費733人
- 光熱費530人 ●ガソリン代206人 ●その他38人



区議団アンケート

### 区政に望むこと

「水害・震災対策」が1番

1月1日の能登半島地震、8月には宮崎県で南海トラフ地震臨時情報が発表され、注意が呼びかけられました。また、9月の奥能登豪雨災害もあり、区民の災害に対する関心が高く、区の調査の「区政への要望」の1、2位が水害・震災対策です。

震災では家屋の耐震化が命を守ります。区の耐震化率は98%ですが、今も旧耐震の家屋が多く残り、高齢化、経済的な問題で家屋全体の耐震化ができない世帯には、耐震シェルターは命綱です。都内17区が実施している助成制度を求めましたが、否定的な答弁。これからも選択肢として求めていきます。

スマホなどを使用しない区民に、正確な災害情報を伝えるためには、自動起動式防災ラジオが必要です。購入時補助を求めていきます。

## 船堀再開発ビル内の「新しい図書館」は

新しい図書館づくりへ住民や有識者の声を反映させる検討会を求め質問。区長は、「図書館基本計画を実現する場である」と消極的な態度でした。この図書館は図書館法と図書館条例に位置づいた施設としたものの、「にぎわ

いの創出という目的実現のため何が必要か検討し決定する」としました。さらに、「にぎわいをもたらすためには様々な機能が必要で、その一つが図書館」と答弁。区民の要望に沿う十分な図書館機能を保障すべきです。

## 給付型奨学金の実現を

現在区で実施中の「木全手嶋育英資金」は3名しか適用されないため、江戸川区の一般財源を用いた新たな給付型奨学金制度と、奨学金返済中の人への返済支援制度の創設を求め質問。教育長は「国や他自治体の動向を注視しながら研究する」との答弁に留まりました。

また、奨学金利用・返済の実態を区として把握するよう質問。教育長は「本区独自の調査の実施は予定していないが、国の調査等を活かして奨学金に関する状況の把握に努める」と答弁。安心して学べるよう、高等教育への支援が求められています。

## 英語スピーキングテストは中止を

都立高入試に活用される中3のテストの申し込みにおいて、システムのずさんさが相次いで問題になっています。また新たな中1・中2のテストでのひどい音漏れや、生徒や保護者への紹介なしに民間事業者が試験監督となるのも問題です。区議団は一貫してテスト中止を求めてきました。学校現場を知らず、

ノウハウも実績もない業者によるテストの中止を求め質問。教育長は「都教委からは適切にテストを行っている」と報告されており、区教委も同様の認識」と答弁。学校・子ども・保護者を蔑ろにする姿勢は問題です。



昨年のスピーキングテストの問題

## 現行の保険証は残すべき「国保条例の一部改正条例案に反対」

マイナ保険証は、高齢者から使いにくいとの声が届いています。今回の条例案は一部賛成できる内容もありますが、保険証廃止に伴う改定のため反対しました。マイナ保険証の強要で今でも窓口でトラブルが続いています。マイナカードの情報漏えい事故はなくなりません。5年ごとの書き換えは大混乱が予

想されます。区議団は反対しましたが条例は成立。現行の保険証は引き続き使えます。



## 2023年度決算認定に反対

主要6基金の合計は約2672億円で全国自治体でもトップクラス。学校給食費無償化を昨年9月から実施しましたが、以下のような問題があり反対しました。

- 物価高で生活に苦しむ区民生活への積立基金活用の方向をしめさない。
- 健(検)診一部有料化などの受益者負担を含む「2100年に向けた江戸川区の考え」の推進。
- 国のスーパー堤防と一体のまちづくりや民間主導の公園整備における住民不在の姿勢。耐震シェルター、止水板、防災ラジオへの補助を否定。
- 消費税減税を国に求めず、羽田新ルートやマイナ保険証を推進。
- 区独自の教職員配置を行わない(小1支援員など)。英語スピーキングテストに無批判な姿勢

## お知らせ

### 感震ブレーカー無料配付

対象：次の各世帯に各1個  
 ①昨年度実施の区の無料配布に申し込んでいない  
 ②新たに区に転入した  
 問合せ先：☎03-4332-1952 (日曜・祝日を除く9時～18時)

### 児童手当の拡充

対象を高校生年代まで広げ、所得制限は撤廃。第3子以降には月額30,000円を支給。支給月は年6回に。

### 児童扶養手当の拡充

年収上限(所得制限)を引き上げて対象を拡充。第3子以降の多子加算額を第2子と同額に。

### 自動通話録音機無料給付の拡充

対象世帯を拡充(同居家族全員が70歳以上→70歳以上の家族を含む)。



自動通話録音機

## 日本共産党江戸川区議団

### 法律相談

各区議事務所・区議団控室では常時生活相談を受け付けています。  
 ☎03-5662-5113 (控室)

区議団ホームページに、2019～2022年度政務活動費の領収書を掲載しています。一部、数字がうすい領収書がありますが、今後改善していきます。



### 小俣 のり子 区議地域

●連絡先 ☎03-3655-4422  
 ●場所/小俣事務所  
 法律相談 ●12月11日(水)・1月8日(水)  
 受付:午後6時半～8時

X (旧 Twitter) @omatanoriko FBは小俣のり子で検索を



### 大橋 みえ子 区議地域

●連絡先 ☎03-5674-3753  
 ●場所/大橋事務所  
 法律相談 ●12月4日(水)・1月8日(水)  
 受付:午後6時半～8時

X (旧 Twitter) @OhashiMiek59844 FBは大橋みえ子で検索を



### 牧野 けんじ 区議地域

●連絡先 ☎03-5662-5113  
 ●場所/牧野事務所  
 法律相談 ●11月29日(金)・12月25日(水)  
 受付:午後2時～4時

X (旧 Twitter) @kenji\_makino FBは牧野けんじで検索を



### 太田 あやか 区議地域

●連絡先 ☎03-3637-4050  
 ●場所/太田事務所  
 法律相談 ●12月19日(木)・1月16日(木)  
 受付:午後6時半～8時

X (旧 Twitter) @jcp\_oaya